研究指導の概要

■ 心理学学位プログラム

【博士前期課程 】

<table>
<tr><th>学年</th><th colspan="2">学期
モジュール</th><th>研究内容及び指導方法等</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1
年
次</td><td rowspan="3">春</td><td>A</td><td rowspan="3">1. 研究体制の基礎固め
①新入生オリエンテーションに出席し、心理学学位プログラム（前期）の人材養成目的、３ポリシー、標準的学修過程、修了要件、学修成果の指標、修士論文の合格基準について理解する
②研究テーマ、副指導教員について指導教員と話し合い、学位プログラムに報告する
③入学時コンピテンス自己評価を実施し、指導教員と認識を共有する。
④③を踏まえて、初年度の科目履修計画を立てる
2. 研究活動の開始
・指導教員と相談の上、卒業研究の学会発表・研究誌投稿を計画・実行する
・修士論文の研究テーマに関する文献収集とレビューの開始
3. 授業の受講
①必修科目「心理学方法論Ⅰ」を履修し、下記について理解を深める
・研究倫理の理念と人間系における研究倫理審査手続き
・学会活動
・心理学の多様な方法論
・英語によるabstract writing skillの学習
②学位プログラムの基礎科目、専門科目の履修により、汎用コンピテンスと専門コンピテンスの獲得を推進する
4. 修士論文第一次指導会へのオブザーバー参加
・2年生の修士論文の構想発表会（5月）にオブザーバーとして参加し、プレゼンテーションと質疑応答から、研究の実際について学ぶ</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
<tr><td rowspan="3">秋</td><td>A</td><td rowspan="3">1. 修士論文の研究の遂行
指導教員とのゼミの下で、下記の事柄に取り組む
①修士論文の研究テーマについての文献収集とレビュー
②研究テーマの絞り込みと研究計画の立案
③研究倫理審査申請書の作成
④研究の遂行
2. 授業の受講
①必修科目「心理学方法論Ⅱ」を履修し、心理学の多様な方法論を学ぶ
②学位プログラムの基礎科目、専門科目の履修により、汎用コンピテンスと専門コンピテンスの獲得を推進する
3. 修士論文第2次指導会（10月）
・最終口述試験（1月）にオブザーバーとして参加し、プレゼンテーションと質疑応答から、研究の実際について学ぶ</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>学年</th><th colspan="2">学期
モジュール</th><th>研究内容及び指導方法等</th></tr>
<tr><td rowspan="6">2
年
次</td><td rowspan="3">春</td><td>A</td><td rowspan="3">1. 2 年時の研究体制の確立
①在学生オリエンテーションに出席し、心理学学位プログラム（前期）の人材養成目的、 3 ポリシー、標準的学修過程、修了要件、学修成果の指標、修士論文の合格基準について確認する
②指導教員と話し合い、副指導教員について確認する
③進級時コンピテンス自己確認を実確し、指導教員と認識を共有する。
④③を踏まえて、 2 年次の科目履修計画を立てる
2. 修士論文の研究の遂行
心理学特別研究Aを履修し、指導教員とともに下記の通り修士論文の研究を進める
①研究計画の立案　②研究倫理申請書の作成　　③データ収集と分析
④結果の考察
3. 第一次指導会（5月）に参加し、プレゼンテーションと質疑応答を行う</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
<tr><td rowspan="3">秋</td><td>A</td><td rowspan="3">1. 修士論文の研究の遂行
心理学特別研究Bを履修し、指導教員とともに修士論文の研究を進める
2. 修士論文第2次指導会（10月）に参加し、プレゼンテーションと質疑応答を行う
3. 修士論文の提出（12月下旬）
修論提出時コンピテンス自己確認の実施、剽窃チェックを受けて提出
4. 修士論文最終審査会（1月）</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
</table>